

宮崎県で18、19例目の 高病原性鳥インフルエンザ続発！

宮崎県都城市と小林市の肉用鶏農場で高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）が確認されました。

【発生農場の概要】 宮崎県都城市 肉用鶏 約6万羽(18例目)

宮崎県小林市 肉用鶏 約4.3万羽(19例目)

【経緯】 ○18例目(12月7日)15例目の発生に伴い遺伝子検査を実施し、陽性。

立ち入り検査で臨床症状を確認、疑似患畜確定。

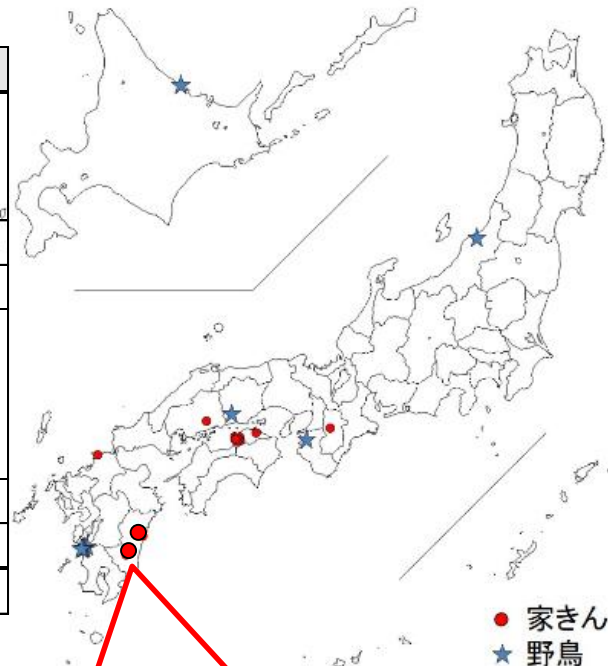
○19例目(12月7日)死亡鶏増加で通報、簡易検査陽性。

(12月8日)遺伝子検査で疑似患畜確認(H5亜型)

厳戒態勢で発生防止対策を再点検し、徹底して下さい。

令和2年度の発生状況(高病原性鳥インフルエンザ 家きん 6県19事例)

都道府県	市町村	発生戸数	飼養状況	
香川県	三豊市 東かがわ市	10戸	採卵鶏	約 172.9 万羽
			肉用鶏	
			肉用種鶏	
福岡県	宗像市	1戸	肉用鶏	約 9.4 万羽
兵庫県	淡路市	1戸	採卵鶏	約 14.6 万羽
宮崎県	日向市 都農町 都城市 小林市	5戸	肉用鶏	約 20.9 万羽
			採卵鶏	
奈良県	五條市	1戸	採卵鶏	約 8.3 万羽
広島県	三原市	1戸	採卵鶏	約 13.4 万羽
計	6県(10市)	19戸		約 239.5 万羽



野鳥での発生状況(12/7時点)

3道県8事例(北海道、鹿児島県、新潟県)で検出
2県2事例(和歌山県、岡山県)検査中

12/7・8高病原性鳥インフルエンザ
発生地点(国内18、19例目)

毎日の健康観察！ 早期発見、早期通報！

特定症状（以下の症状を確認したら直ちに通報してください。）

- ・同一の家きん舎内で1日の死亡率が過去21日間平均の2倍以上
- ・鳥インフルエンザの検査でウイルス抗原及び抗体確認
- ・その他(5羽以上がまとまって死亡、鶏冠、肉垂チアノーゼ、沈うつ、産卵率低下等)